

古文書展

半農半漁の村 菖蒲

あやめ
菖蒲

— 琵琶湖のほとりに生きる —



平成29年

2月4日(土) ~ 3月12日(日) 休館日:月曜日

野洲市歴史民俗博物館(銅鐸博物館)

滋賀県野洲市辻町 57-1 TEL:077-587-4410 FAX:077-587-4413

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

入館料 大人 200円 高大生 150円 小中学生 100円

※団体(20名以上)は各50円引き 野洲市民は入館無料

主催 野洲市・野洲市教育委員会



写真:菖蒲漁港の蜷小屋と蜷船 昭和30年(1955)
(野洲市菖蒲自治会蔵)

文書:差出明細帳 天保15年(1844) (当館蔵)

第13回 市史・郷土史学習会

2月18日(土) 14:00~15:30

会場:博物館研修室

① 学習会「菖蒲の成り立ちと生業

—琵琶湖岸の新田開発と漁業—

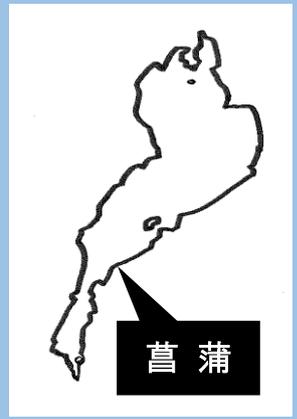
② 展示解説

講師 齊藤 慶一(当館学芸員)

定員:先着120名(申込不要)

※要入館料

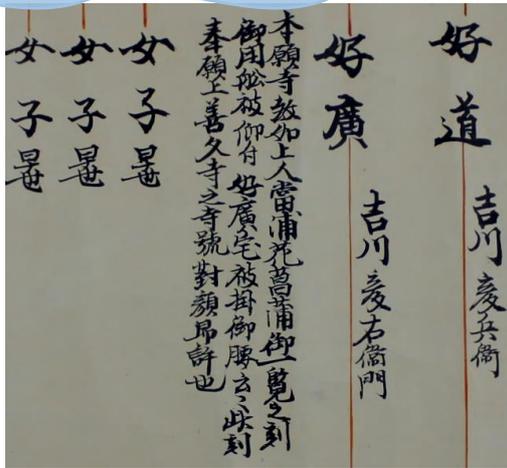
古文書展 **半農半漁の村 菖蒲** あやめ **菖蒲** 一琵琶湖のほとりに生きる一



琵琶湖岸・旧野洲川北流河口部に位置する滋賀県野洲市菖蒲。

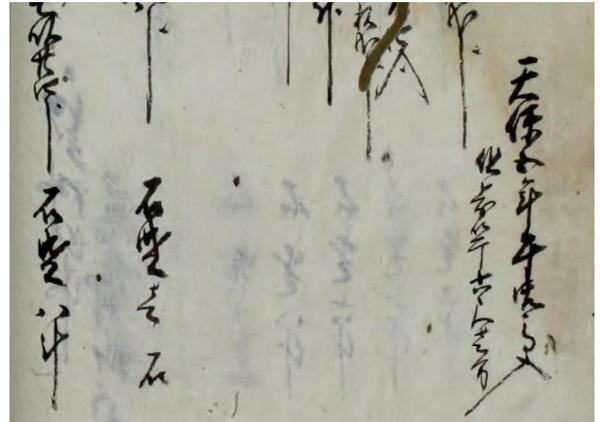
菖蒲は、琵琶湖岸の新田開発が盛んに進められた江戸時代の天保年間(1830～44)頃に成立した集落と考えられています。当館が新たに収集した『菖蒲村関係文書』からは、これを裏付ける古文書が発見されました。また、かつては、ほとんどの世帯が琵琶湖で漁業を行っていました。本展では、新発見の古文書から菖蒲の歴史、特に琵琶湖岸の新田開発と漁業について紹介します。

1章 うみべ **湖辺に暮らす**



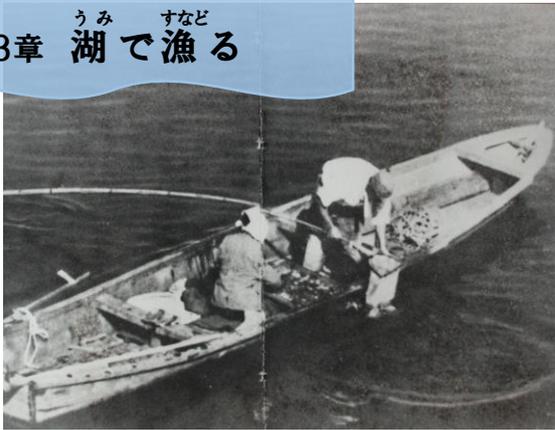
①

2章 ひら **湖辺を拓く**

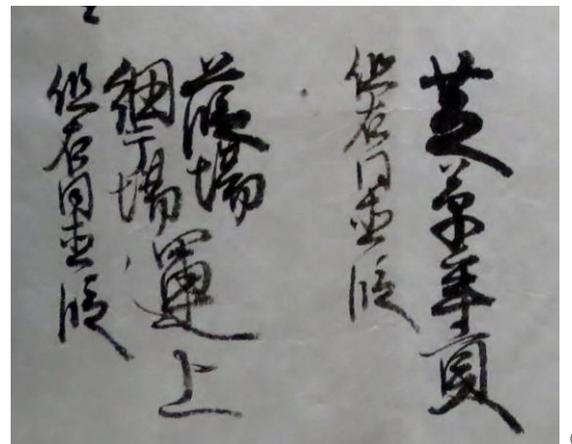


②

3章 うみ すなど **湖で漁る**



③



④

- ①吉川氏系図部分 明治時代 (吉川周男氏蔵) ②差出明細帳 部分 天保15年(1844) (当館蔵)
- ③菖蒲浦沖 蜆かき 昭和20年(1945) (野洲市菖蒲自治会蔵)
- ④申年皆済目録 部分 嘉永2年(1849) (当館蔵)

【交通アクセス】

1、JR野洲駅南口からバスを利用する場合

①近江鉄道バス「希望が丘西ゲート(花緑公園)」方面行き、「銅鐸博物館前」下車すぐ ②または「村田製作所」、「三井アウトレットパーク」方面行き、「辻町」下車徒歩5分

2、車を利用する場合

名神高速道路「竜王I.C」または「栗東I.C」から国道8号線経由約15分

駐車場 普通自動車50台 大型バス5台 ※駐車無料

